

〈参考資料〉

2019年5月28日

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー

魚介類の核種分析結果〈福島第一原子力発電所港湾内〉

試料名 (部位)	採取場所	採取日	試料濃度 (Bq/kg (生)) (半減期)		
			Cs-134 (約2年)	Cs-137 (約30年)	Cs合計
マコガレイ(筋肉)	1F港湾内(北防波堤)	2019年4月3日	ND(4.7)	40	40
ヒラメ(筋肉)	1F港湾内(南防波堤)	2019年4月26日	ND(4.9)	20	20
ウミタナゴ(筋肉)	1F港湾内(開渠内北側)	2019年4月3日	ND(8.2)	39	39
ボラ(筋肉)	1F港湾内(開渠内北側)	2019年4月19日	13	160	173
スズキ(筋肉)	1F港湾内(開渠内南側)	2019年4月3日	ND(4.7)	6.8	6.8

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載し、個別の核種については()内に検出限界値を示す。

※ 基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計:100Bq/kg。